

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	制御論	
科目基礎情報							
科目番号	0117		科目区分		専門 / コース選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	商船学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	計測制御工学 1 で配布した資料						
担当教員	小川 伸夫						
到達目標							
1. 制御用数値計算ソフトを利用して、制御系のシミュレーションができる 2. 制御系の設計ができる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		制御用数値計算ソフトを利用できる		制御用数値計算ソフトを利用できる		制御用数値計算ソフトを利用できない	
評価項目2		制御系の設計ができる		制御系の設計ができる		制御系の設計ができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		この教科は、制御用数値計算ソフトを利用して制御系の設計することを目的としている。 この授業を受けることで、制御用数値計算ソフトを利用して、制御系の設計できるようになる。					
授業の進め方・方法		・ 講義と実習を取り混ぜて行う。 ・ 授業中で作成したファイルは提出する。 ・ 遠隔授業の場合もある。					
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	制御用数値計算ソフトとその使い方		制御用数値計算ソフトについて理解し、使用できる		
		2週	制御用数値計算ソフトの使い方		制御用数値計算ソフトについて理解し、使用できる		
		3週	制御用数値計算ソフトの使い方		制御用数値計算ソフトについて理解し、使用できる		
		4週	制御用数値計算ソフトの使い方		制御用数値計算ソフトについて理解し、使用できる		
		5週	伝達関数の挙動		伝達関数のシミュレーションを行うことができる		
		6週	伝達関数の挙動		伝達関数のシミュレーションを行うことができる		
		7週	中間試験				
		8週	試験の返却と解説 制御器の設計		制御器の設計とシステムのシミュレーションができる		
	4thQ	9週	制御器の設計		制御器の設計とシステムのシミュレーションができる		
		10週	制御器の設計		制御器の設計とシステムのシミュレーションができる		
		11週	制御器の設計		制御器の設計とシステムのシミュレーションができる		
		12週	制御器の設計		制御器の設計とシステムのシミュレーションができる		
		13週	制御器の設計		制御器の設計とシステムのシミュレーションができる		
		14週	制御器の設計		制御器の設計とシステムのシミュレーションができる		
		15週	期末試験				
		16週	試験の返却と解答				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	40	0	70
専門的能力	20	0	0	0	10	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0